

春待つふるさとの森

今年も暖冬の影響で、例年にないほど雪の少ないふるさとの森。そんな中でも、じつと春の訪れを待つ花があります。それが、高級和紙の原料にもなる「ミツマタ」です。



蜂の巣のような姿が可愛いミツマタの蕾

読んで字のごとく、枝が「三つ又」に分

かれているのが特徴で、花の少ない時期に森の中に黄色く鈴なりに咲く様は、ぼんぼりが灯ったように美しいです。

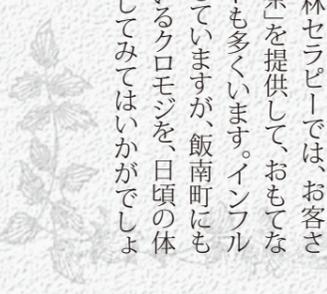


平成31年1月18日付け 山陰中央新報

インフルエンザ予防に!? クロモジに脚光

飯南町でもおなじみの「クロモジ」に、インフルエンザの抗ウイルス作用があることが分かりました。クロモジの成分は、薬用養命酒の生薬にもなっており、同製品を製造・販売する養命酒製造株式会社と愛媛大学の共同研究で実証されました。

飯南町の森林セラピーでは、お客さまへ「クロモジ茶」を提供して、おもてなしをするガイドも多くいます。インフルエンザが流行していますが、飯南町にも多く自生しているクロモジを、日頃の体調管理に生かしてみたいかがでしょうか？



短歌

頓原公民館短歌教室 一月詠草

- 晩秋の日差しを溜める山畑にほろほろ温き雫を拾う 藤原 正
歌を詠む縁につながる笑顔みて心をやすむは幸せ 岡田 繁富
敗戦に泣きし少女も平成の平和味わい八十路を歩む 片岡 千鳥
親よりも兄弟よりも承らえて健やかに迎へむ次なる御代を 千葉トミエ
杖残り施設に行きし夫の姿追えは恋しき秋の夕ぐれ 景山サチ子
平成の三十年の吾の歩み多年を迎え「新瓦号」を待つ 三上 朋子
百「歳」安来節「好む兄逝けり笑まう遺影の口ずさむがに (遺 詠) 熊谷 允子
ひとひ終えはしとする今宵のひせすほどほしと楽しい夢みたい 景山 牧栄
とりどりのもみじの落ち葉あざやかに祭りのあとの神社鎮もる 本間 啓美
免許とり猪ワナをしかけるも避けた足跡あき笑うごと 石川 隆
日記帳三年だった目標を五年と定め雪空を眺む 安部 徳則
平成も最後となり暮れちかし我が年齢思いて良き新年願う 山本 正敏

飯南町国道54号活性化アクションプラン推進協議会



神話の山「琴引山」

設立から10年を迎えた、国道54号活性化アクションプラン推進協議会。しかし、どんな目的で、どんな活動をしているのか知らない人も多いのでは？本協議会の取り組みを連載で紹介いたします。

■問合せ
国道54号活性化アクションプラン推進協議会 (い〜にゃん人つなぎ協議会)
電話76・2864 (地域振興課)

飯南町の「自然」の魅力を高める活動

自然部会では、主に飯南町の「山」に関わる活動をしています。

飯南町の山々は標高1000m前後のため、初心者でも比較的簡単に登れます。また四季折々の彩りや、その時期にしか見られない植物もあり、年間を通じて多くの登山者が訪れています。この魅力をさらに磨き上げ、「町内外の人にもっと飯南町の山を楽しんでほしい」という思いから活動しています。

登山道に関わる提案書を提出

飯南町の山を訪れた人が楽しく安全に登れるように、琴引山と大万木山の登山道の現状を把握する調査を実施し、案内看板の設置場所などをまとめた提案書を町へ提出しました。

町と連携しながら、登山者が楽しく安全に、そして何度でも訪れてもらえるような登山道にしていきたいと考えています。

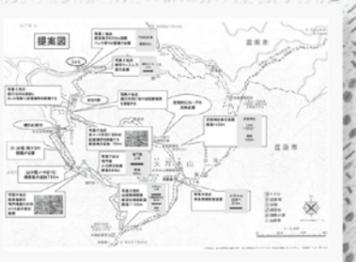
今後の展望

飯南町の山や自然の魅力を発信するには、登山道の整備だけでなく、実際に訪れて体験する人を増やしていくことが重要です。訪れた人がSNS等を通じて写真などをリアルタイムに情報発信できれば、町内外へ素早く情報が共有できます。

自然部会では山のことだけでなく、飯南町の今知りたい新鮮な情報がつかめる仕組みづくりを始めようとしています。次号では、その仕組みづくりについて紹介します。



実際に足で歩いて調査



案内看板の設置などを提案



すこやか

1月届出分

- 新生児 居出人 地区
吉田 想 真也(頓原)
恒松 杏奈 和真(赤色)

やすらぎ

1月届出分

- お名前 親族 地区
高下 ハル子 等 (谷)
熊谷 允子 高暢(町区)
本間 壽子 達也(町区)
和田 幸子 洋一(川西)
安部 富代 精一(志津見)
池田 利明 和香子(谷)
前田 祥宏 和秀(寺沢)
比毛 美代子 宇山美輝(赤色)
那須 強 修二(敷波)

今日の人権標語

「家族でつくる人権標語」優秀作品から

手伝うよ その一言で
みな笑顔

赤名小6年 八嶋 剛さん
家族名 八嶋 奈美恵さん

泣かないで えががあ
いちばん たからもの

赤名小6年 前島 柚花さん
家族名 前島 容子さん

標語に込められた思いを町民みんなで意識し、差別や偏見のない明るいまちづくりをめざしましょう。

今日の表紙

全6回講座のヒトカラhitocolorイイナンも、2月10日で5回目になり、いよいよ大詰め。「やりたいこと」×「地域・社会によいこと」をキーワードに、やりたいことの実現に向けて話し合いました。
新たなことを始めようとする参加者の表情は、とても生き生きとしていました。(7Pに4回目の関連記事)

